

# 「まちの匠・ぷらす」京町家・木造住宅 耐震・防火改修支援事業

# ま ち の 匠 プラス

今こそ、すまいの耐震化！

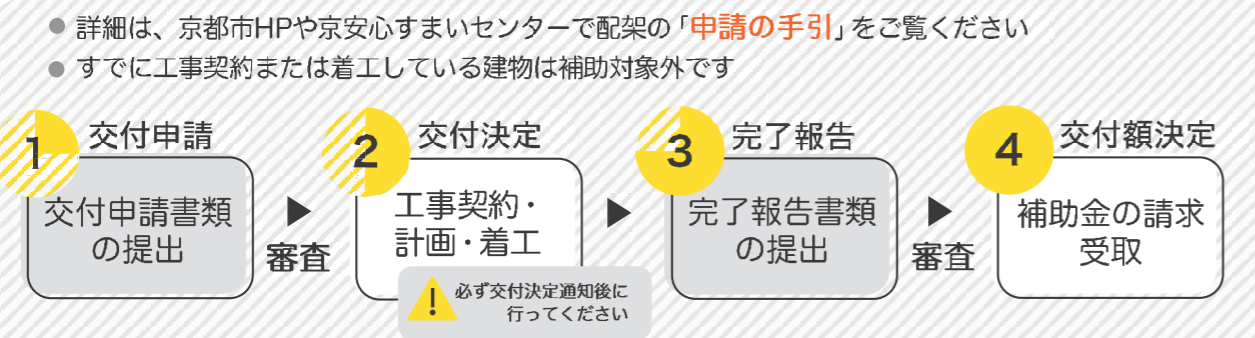
補助します 工事費を 耐震・防火改修

期間限定

MACHINO TAKUMI+

- 対象の建物** 京都市内にある木造の一戸建て住宅※、長屋または共同住宅  
※併用住宅(居住部分の床面積が延べ面積の1/2以上のもの)を含む
- 木造住宅** 昭和56年5月31日以前に着工 **京町家** 昭和25年11月22日以前に着工
- 対象者** 対象建物の所有者または居住者(予定を含む)  
※工事は京都市内の事業者が、元請負人または下請負人として施工する必要があります
- 申請期間** 2024年4月18日(木)から12月27日(金)まで  
※予算がなくなり次第終了します
- 申請方法** 京安心すまいセンターへ必要書類を持参または郵送

完了報告は  
2025年  
3月1日まで



**補助額** ① 補助対象工事費用の4/5 ② 補助限度額  
①② いずれか少ない方が補助金額  
※本格改修は、改修前後の耐震診断が必要です

改修種別	木造住宅	京町家
本格改修	上限 80~200万円 ※改修後の耐震性能により異なる	上限 100~300万円 ※改修後の耐震性能により異なる
簡易改修	最大 40万円 ※各メニューに上限あり(5~20万円)	最大 60万円 ※各メニューに上限あり(10~30万円)
防火改修	最大 40万円 ※各メニューに上限あり(1.5~20万円)	最大 60万円 ※各メニューに上限あり(1.5~20万円)

**申請の受付お問合せ先**

京都市のすまいのワンストップ総合窓口  
みやこ 安心すまいセンター  
MIYAKO ANSHIN SUMAI CENTER

電話 075-744-1631 (耐震・省エネ担当)  
FAX 075-744-1637  
開館時間 午前9時30分~午後5時  
休館日 水曜日・祝日・第3火曜日及び年末年始(12/29~1/4)

所在地 〒600-8127  
京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1

アクセス  
バス 市バス 4・17・205号系統「河原町正面」下車  
電車 京阪電車「清水五条」下車 徒歩8分  
地下鉄烏丸線「五条」下車 徒歩10分



京安心すまいセンターは、京都市住宅供給公社が運営しています

令和6年度 申込期間 2024年4月18日(木) ▶ 12月27日(金)

より安全に / 住み続けたい

最初のいちを守り、いよいよ本格改修

木造住宅 最大 200万円  
屋根の軽量化など 簡易改修 最大 40万円

京町家 最大 300万円  
土台や柱の修繕など 簡易改修 最大 60万円

自分の家が壊れても、自分だけの問題。と思いませんか？

木造住宅が密集し、細い路地が多い京都市では、地震時に建物が倒壊することで、道路を塞ぎ、避難や救助に支障を来すおそれがあります。また火事が起きると、燃え広がりやすいといった課題も抱えています。今こそ、自分のいのちと地域の防災のために、すまいの耐震化と防火改修が必要です！

# 耐震 改修工事の事例



長屋は構造を共有しているため、1戸よりも1棟で改修の方が効果があり、オススメです！

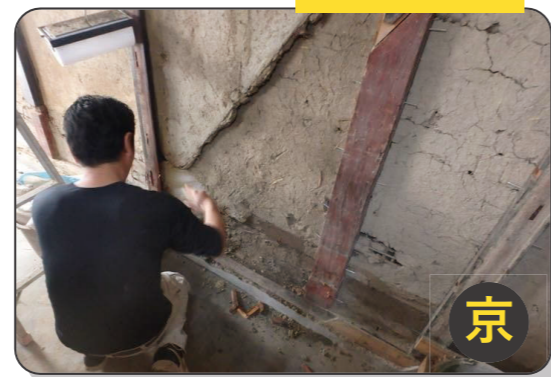
## 劣化した箇所の修繕



木 京

▶ 湿気やシロアリ被害により傷んだ柱や土台を交換する工事

木材は腐ると本来の力が発揮できず、耐震性能が大きく低下します。修繕をして耐震性能を回復させましょう。



京

▶ 劣化した土壁を塗り直す工事

京町家は柱と梁、土壁の粘り強さで地震に耐えます。古い土壁を塗り直すことで本来の耐震性能を回復します。

## 補強・軽量化工事



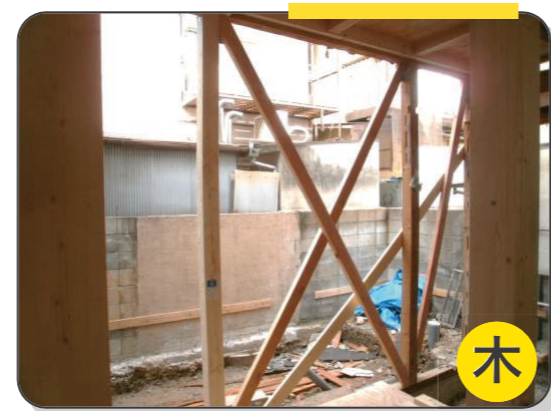
▶ 屋根を軽くする工事

屋根が重いほど、地震の時に建物の揺れが大きくなります。軽い屋根材に替えると揺れが小さくなり、建物が倒れる可能性が減ります。



木 京

瓦の下にある土を取り除き、軽い屋根材にふき替えました。



木

▶ 強い壁を設置する工事

既存の壁に筋かい(柱と柱の間に取り付ける補強材)や金物、壁がない箇所にバランスよく耐力壁(地震に強い壁)を設置することで地震の時に建物の変形を小さくします。

### 参考 木造住宅と京町家の違い



**木** 一般的な木造住宅(旧耐震)

昭和56年以前に建築された一般的な構造の建物。筋交いや金物などで建物を堅くして、地震に耐えます。



**京** 京町家

昭和25年以前に伝統的な構法で建築された建物。柱や梁の木組みと、土壁の粘り強さで地震に耐えます。

# 補助 対象工事と上限額

詳細は「申請の手引」をご覧ください

- ① 補助対象工事費用の4/5
  - ② 補助限度額
- ①② いずれか少ない方の額が補助金額  
※本格改修は、改修前後の耐震診断が必要です

## 本格改修

安全に住み続けたい！

	木造住宅	京町家
● 現在の耐震基準に適合 (構造評点1.0以上)	200万円	300万円
● 一定以上の耐震性能を確保 (構造評点0.7以上1.0未満)	100万円	150万円
● 耐震性能が従前よりも向上 (壁の設置や屋根の軽量化に簡易改修を1つ以上組み合わせる)	80万円	100万円

防火改修 必要

## 簡易改修

まずはできる所から！

	木造住宅	京町家
● 屋根型 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 屋根の軽量化</li> <li>● 構面強化</li> </ul> 最大40万円	20万円	30万円
● 床型 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2階床組の強化</li> <li>● 小屋組の強化</li> </ul>	5万円	10万円
● 壁型 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 金物の設置 (木造住宅)</li> <li>● 土壁の修繕 (京町家)</li> </ul>	5万円	10万円
● 足元型 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 土台、柱又は基礎の劣化修繕</li> <li>● 有筋の基礎の増設 (木造住宅)</li> <li>● 柱脚部の補強 (京町家)</li> </ul>	10万円	10万円

組み合わせると効果アップ！

## シェルター等

よく使う部屋だけは！

- 耐震シェルターの設置 40万円
- 耐震ベッドの設置 40万円

## 防火改修

地震対策は防火も重要！

「防火・準防火地域」内の建物が対象です  
木造住宅は最大40万円 / 京町家は最大60万円

● 軒裏の防火改修	20万円	● 外壁の防火改修	20万円
● 開口部の防火改修	1.5万円/m <sup>2</sup>	● 感震ブレーカーの設置	5万円
● 長屋の界壁の防火改修	20万円	● 木製防火雨戸の設置	5万円/m <sup>2</sup>